

年 組 名前:

問1

富士河口湖町の会社が

開発した、クマやイノシシを

追い払う装置の名称を

教えてください。

問2

次の文章の①から④に

当てはまる言葉や数字を、

教えてください。

『装置は①でクマや

イノシシを感知すると、

②と呼ばれる低周波の

音波を③して追い払う。④ヘルツから⑤ヘルツのさまざまな周波を

組み合わせて、⑥に発生させる。動物が音に慣れないよう周波は

⑦パターンあり、装置から1メートル離れた場所で⑧デシベルの音量がある』

- A B C D E F G H

問3

どのような場所に装置を設置することが有効ですか。

音でクマ撃退、装置開発

富士河口湖町の会社



自動車部品販売などのティ. エム. ワークスが開発した「くまドン」

同社は2018年、シカなどの動物が嫌がる高周波音を発生させて遠ざける車載装置「鹿ソニック」を開発したことをきっかけに、本格的に獣害対策製品の研究開発に乗り出した。クマやイノシシ向けの装置を作るため、21年から岡山理科大や帯広畜産大と共同で、北海道中札内村などで

実証実験を進め、今年8月末に発売にこぎ着けた。装置は赤外線でクマやイノシシを感知すると、忌避音と呼ばれる低周波の音を照射して追い払う。80から120のさまざまな周波を組み合わせて、断続的に発生させる。動物が音に慣れないよう周波は4パターンあり、装置

から1メートル離れた場所でも90分の音量がある。北海道で3年間行った実証実験では、設置場所に現れた全てのクマが逃げた。イノシシには1年半、2年間の実験を行い、効果を確認した。赤外線の感知範囲は5から10メートル程度。大きな音が発生させるので住宅地の近々には設置できない。電源はソーラーパネルだが、日当たりによって車載バッテリーに交換することもできる。価格は30万円前後で、設置場所に合わせた仕様にする。獣害の多い農業地域やキャンプ場などから問い合わせが来ているという。

〈渡辺真紗美〉

被害多発 需要見込む

自動車部品販売などのティ. エム. ワークス(富士河口湖町船津、轟秀明社長)が、クマやイノシシを嫌がる音で追い払う装置「くまドン・いのドン」を開発した。今年はクマによる被害が全国的に多発していることから、問い合わせが相次いでいるという。

基本。柵で囲いきれない場所や、特にクマを寄せ付けない場所に「くまドン」を設置するのが有効」と説明する。県内でもクマによる被害が出ていることから、「今後、県内で実証実験ができる場所を探したい」としている。

(2023年11月9日付 山梨日日新聞7面)